学校番号	302

平成 31 度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の音楽１（教育芸術社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を創作すること」「音楽を鑑賞すること」の４つの分野を年間通して学びます。年間のうち日本の音楽伝統文化（箏）も学びます。
・授業では教科書、ファイル、筆記用具、随時前もって指示のあった時にリコーダーを持参してください。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートの内容、記述（楽典）・実技の両方の小テスト、実技テスト（独唱・独奏）、個人やグループで取り組む課題やレポートにより評価します。
例えば『演奏会』が「演奏者」と「聴衆」の関係があって初めて成り立つように（１人だけで演奏しても演奏会にはなりません）、音楽の授業は人との関わりや協力により成り立っています。個人の知識・技術を高めるとともに、音楽を共に学ぶ仲間と共に協働し、互いに感性を高め合いながら、自分らしい音楽の表現力と聴く力、良さを理論的に理解出来る力を身につけます。
・皆さんにとって、音楽が好きな気持ちをさらに深め、音楽が生涯ずっと心の支えとなり、生きていく力の１つとなることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら歌唱・器楽・創作の様々な表現形態による特徴を生かして音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識・歌唱・器楽・創作の技術を身につけ、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	授業態度 ワークシート グループ発表の準備	授業態度 ワークシート 演奏聴取（実技テスト） 作品提出	授業態度 演奏聴取（実技テスト） 小テスト（筆記・実技） 作品提出	・授業態度 ・ワークシート ・グループ発表の内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの分野で観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	思いっきり声を出して豊かな声で夕陽のハーモニーを作ろう！ ～歌の歴史・名曲の秘密を知る・表現と音楽要素との関わりを学ぶ～	【歌唱】校歌 ◆声のウォーミングアップ曲 翼をください 世界に1つだけの花 ◆愛の歌～あなたはどのタイプ？異なる好き！の表現～ Caro mio　ben O sole mio ◆名曲の秘密を探る 野ばら ◆合唱～モノフォニーからポリフォニー～ だるまさん　カノン 群青	○	○	○		a-１歌う喜びを味わい、伸び伸びとした声で歌う学習に主体的に取り組もうとしている a-２合唱で他者と声や響きを合わせ、美しいハーモニーを作ろうとして歌っている b 音楽を形作っている要素や曲の背景を知覚し、それらの働きが生み出す曲想を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか表現意図を持っている。 c 表現したいことを伝えるための歌唱技能を身につけている	観察 ワークシート演奏 聴取 (独唱・グループでの演奏)
	アンサンブル・創作を楽しもう	【器楽】 GROOVEⅡ(ボディパーカッション) ◆リコーダー 威風堂々 ボレロ	○	○	○		a アンサンブルに関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b 名曲の旋律を聞き、美しいフレージングと音色をイメージして、リコーダーにおいても原曲の音色やフレーズを工夫して演奏できる。 c リズム譜を正しく読みとり、自分一人で音に再現でき、曲想に合わせた表現ができる。また、リズムを組合せ、リズムアンサンブルの創作～表現の工夫ができる。	観察 演奏の聴取 (グループ・個人) ワークシート 作品提出
	楽器や音楽の仕組みを聴いてみよう 知って聴いてみよう	【鑑賞】 威風堂々＊ ボレロ＊	○			○	a 管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに興味を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 b 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、これらの価値を考え、音楽の理解を深目、良さや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

後期	歌詞の内容と音楽の関わり ～旋律と言葉の関係を知って歌う～	【歌唱】 ◆声のウォーミングアップ曲 ひまわりの約束 花の街＊ ◆言葉と旋律の秘密 待ちぼうけ、この道 ◆合唱～モノフォニーからポリフォニー～ いちもんめのいっすけさん For the beauty of the earth＊	○	○	○		a 曲ごとの曲想や歌詞内容、造られた背景と楽曲の関わりに関心を持ち、イメージを持って伸びやかに歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b 言葉の抑揚と音程を知覚し、それらの働きが生み出す特質について感受して、どのように自分なりに歌うかを考えて歌っている。 c 曲想や歌詞や楽曲の背景と関わらせてイメージを持って音楽表現するために必要な曲種に応じた発声、日本語や英語の発音、呼吸法、読譜をするための力を持ち、ハーモニー感を持って歌うことができる。	
	複雑なリズムを理解し、体全身でリズムを感じて 表現しよう！	【器楽】 ◆箏を弾こう！　さくらさくら ◆ギター Happy Birth Day＊	○	○	○		a 他者と協力して支え合い、アンサンブルの良さを味わいながら、仲間とともに主体的に活動に参加出来る。 b 楽器の音色と奏法に注目し、本来の持つ音色の美しさについて知覚し、演奏する時に音色について創意工夫ができる。 c-1 複雑なリズム形を独力で譜読みして正しく音に再現することができる。 C-2 箏やギターの基本的奏法・読譜力を身につけて演奏することができる。	
	日本の伝統音楽・箏の 名曲・音色を知る	【鑑賞】 六段の調べ＊	○			○	a 日本の伝統楽器のスタイルや文化に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。 d 音色と奏法の関わりについて知覚・感受し、日本音楽特有の間、や仕組みを学びよさや美しさを創造的に味わい聴いている。	
	作ってみよう！さくらさくらの２重奏 パート～４０人で奏でるリレー演奏	【創作】 ◆さくらさくらの合奏作品を作ってみよう！ ・箏で演奏したさくらさくらの2重奏曲を作ってみよう！	○	○	○		a 班で協力しながら課題の創作部分に積極的に取り組み活動している b 我が国特有の音階や奏法の特徴に関心を持ち、曲のイメージを創作する際、与えられた条件の中で創作意図を持って創作している。 c 日本の伝統的な楽譜の表記法を理解し、自分が創作した曲を図形楽譜等で記譜し、音に再現できる譜を作ることができる。	

＊曲目は生徒の実態に合わせて変更することがあります。